

岡山県の地震

令和2年(2020年)11月

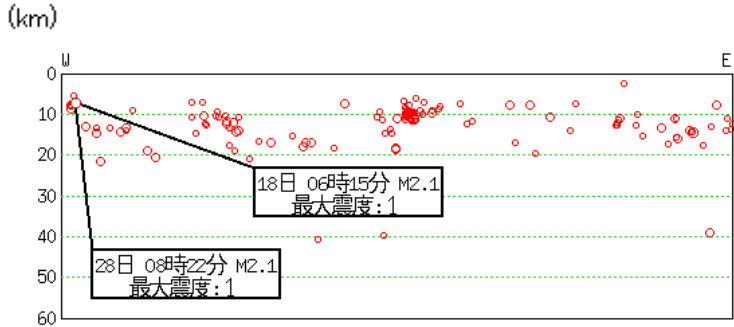
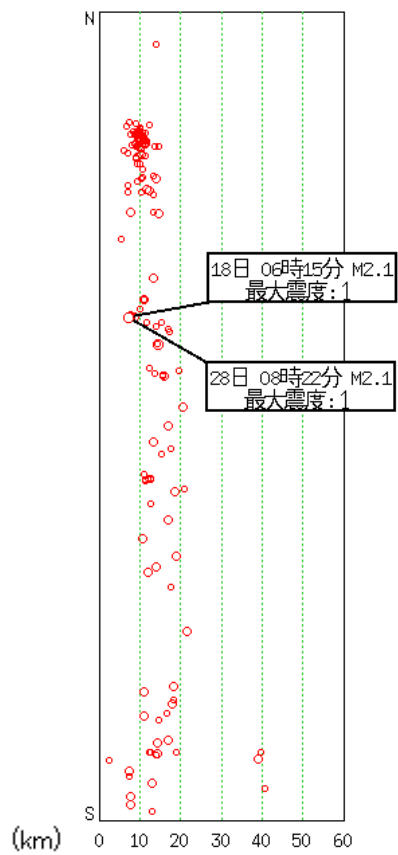
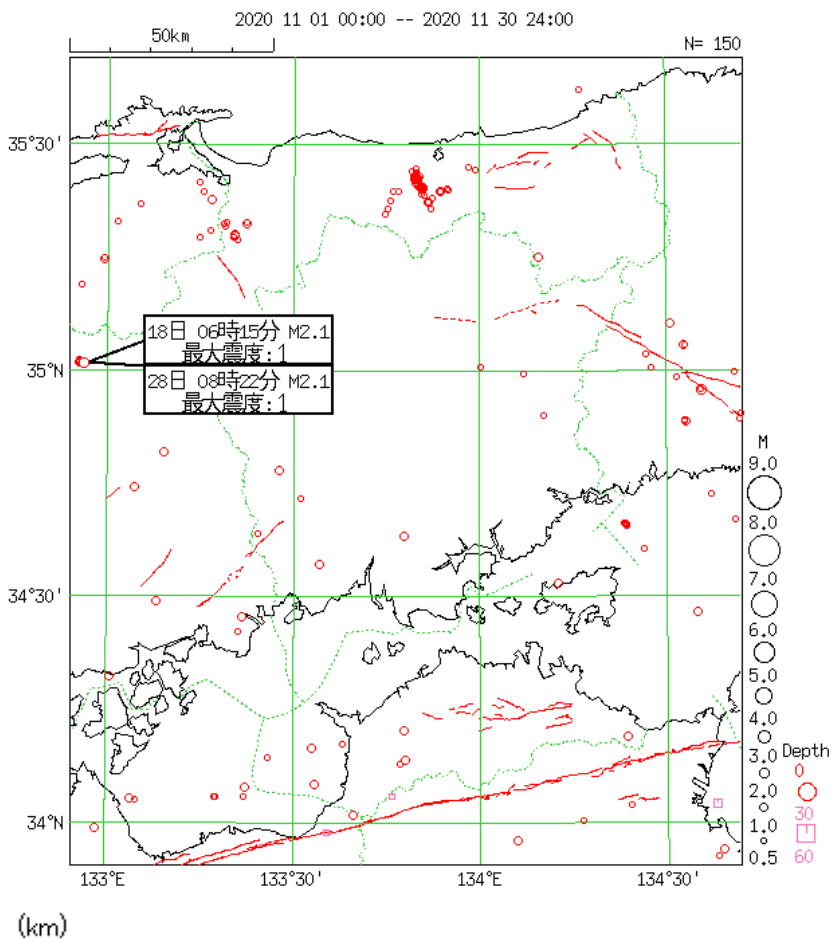
目次

○岡山県及びその周辺の地震活動（11月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 該当なし
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 該当なし
○地震防災メモ No.179	
「地震本部」について	… 2

- 「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
- この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山県及びその周辺の地震活動(11月)

震央分布図及び断面図



左上 震央分布図 (地図内の細線は活断層を表しています。)
右上 南北断面図
左下 東西断面図

図中の注釈(吹き出し)は、震度1以上を観測した地震について最大震度などを表しています。

概況

11月の概況

- ・上図の範囲内で11月に震度1以上の揺れが観測された地震は2回(前月:4回)でした。
- ・岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は11月中に0回(前月:0回)でした。

「地震本部」について

「地震本部」とは>

地震本部とは、地震調査研究推進本部の略称です。地震本部は、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の経験として、地震に関する調査研究の成果が国民や防災を担当する機関に十分に伝達され活用される体制になっていなかったという課題意識の下に、行政施策に直結すべき地震に関する調査研究の責任体制を明らかにし、これを政府として一元的に推進するため、総理府に設置（現・文部科学省に設置）された政府の特別の機関です。

気象庁も、地震本部に参画し、調査・観測データ等を提供しています。

地震本部のHP <https://www.jishin.go.jp/>

主な地震活動の評価、主要活断層帯・海溝型地震の長期評価など>

地震本部では、国内の地震活動について毎月および臨時で評価を行い、その結果を公表しています。

また、海溝型地震と主な活断層を対象として、地震の規模や一定期間内に地震が発生する確率などを評価し、その結果を「長期評価」として公表しています。（確率値は、毎年1月1日現在で計算し直して公表しています。）

さらに、「地震に関する正しい知識を普及し、地震への備えに活かしてもらうことを目的に、これまでの地震に関する知識を整理し、分かりやすく提示するもの」として、『日本の地震活動—被害地震から見た地域別の特徴—』が公表されています。令和2年3月から、地方別に改訂が進められており、『中国・四国地方の地震活動の特徴』が、最初に公開されました。過去の被害地震の例や将来被害を及ぼす地震の評価やその特徴について説明されています。

中国・四国地方の地震活動の特徴 https://www.jishin.go.jp/main/nihonjishin/2020/chugoku_shikoku.pdf